土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　後山川通常砂防事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor-3	調査位置	広島県福山市鞆町後地	北　緯	34° 23' 08.2427"
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	令和2年 4月 8日～ 令和2年 4月10日	東　経	133° 22' 37.4923"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 51.76m	角度	180° 上 90° 下 0° / 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南
総削孔長	4.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機　D-0 / エンジン：ヤンマー　NFD13 / ポンプ：東邦地下工機　BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	50.16	1.60		玉石混り礫質土		褐灰	rd3		未固結の玉石混り礫質土。 コア長10cm前後の玉石を混入し、径5～80mm前後の亜角礫主体。 砂分は細粒砂優勢。 細粒分やや多い。	
2	47.76	4.00		流紋岩		灰			流紋岩(軟岩～中硬岩)。 コア長5～25cm前後の短柱状コア主体で採取。 亀裂間に土砂を挟む。 岩片硬質を呈するが、潜在亀裂が発達する。	
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
16	1.15	5	5	6	16/300		
	1.45						
50以上	2.05	50/60			50/60	60	
	2.11						
50以上	3.00	50/20			50/20	20	
	3.02						
50以上	4.00	50/30			50/30	30	
	4.03						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				4/9